



編集・発行 猪名川町 企画部 広報コミュニティ課

〒666-0202 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑1-1 電話番号 072 (766) 8707 ファックス番号 072 (767) 2255

ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

みんなが築くまちづくり

本町においても、景気の低迷が続く中、まちづくりの根幹となる大規模住宅開発地などでは人口定着の遅延、開発計画の中止と、既存のニュータウンにおける少子高齢化の進行など、今後のまちづくりに大きな影響を与えはじめております。

また、歳入の大きな柱である町税についても景気の影響などにより落ち込んでおり、さらに、過去に実施した大型事業などの地方債の一括償還時期が到来することから、町財政は極めて厳しい状況に直面することとなります。

このことから、これまで以上にコスト意識などの経営感覚を持って、民間企業の活用や推進や社会的ニーズの変化に対応した組織、機構や事務事業の見直しなど効率的で効果的な行政運営を推進していくため、平成15年度を初年度とする3カ年の行政改革大綱を策定しました。

このように中、住民、事業者と行政がそれぞれ果たす役割を明確にし、相互に補完しあいながら、さまざまな課題の解決に向け取り組んでいく、参画と協働のまちづくりを推進していくことが重要であります。

そして、猪名川の源流のまちとして、先人から受け継いだ豊かな自然を守り、自然との共生の心を取り戻し、親しめる河川の環境を創造し、これを次代に引き継ぐため、「清流猪名川を取り戻そう町民運動基本構想」を策定しました。

これに基づき、河川に流れ出る水の源である森林保全のため、里山の再生とともに生活環境における水の活用について、完全学校週5日制に伴い、子どもたちの文化活動、地域の伝統文化や身近な自然を活用したふるさと学習、「地域の伝統文化の体験活動」の機会と場の提供システムを構築するため、「ふるさと文化再発見アクションプラン」を推進します。

また、地域に信頼される学校・園を実現するための学校評議員制直し、河川そのものの浄化・流下環境を回復することなどを目標とした「清流が流れるふるさとのみち」づくりをめざします。

また、第四次猪名川町総合計画の後期基本計画(平成17年～同22年)の策定作業に着手してまいります。さらに、今日の社会経済情勢から基本構想の見直しも併せて検討してまいります。

また、歳入の大きな柱である町税についても景気の影響などにより落ち込んでおり、さらに、過去に実施した大型事業などの地方債の一括償還時期が到来することから、町財政は極めて厳しい状況に直面することとなります。

このことから、これまで以上にコスト意識などの経営感覚を持って、民間企業の活用や推進や社会的ニーズの変化に対応した組織、機構や事務事業の見直しなど効率的で効果的な行政運営を推進していくため、平成15年度を初年度とする3カ年の行政改革大綱を策定しました。

このように中、住民、事業者と行政がそれぞれ果たす役割を明確にし、相互に補完しあいながら、さまざまな課題の解決に向け取り組んでいく、参画と協働のまちづくりを推進していくことが重要であります。

そして、猪名川の源流のまちとして、先人から受け継いだ豊かな自然を守り、自然との共生の心を取り戻し、親しめる河川の環境を創造し、これを次代に引き継ぐため、「清流猪名川を取り戻そう町民運動基本構想」を策定しました。

これに基づき、河川に流れ出る水の源である森林保全のため、里山の再生とともに生活環境における水の活用について、完全学校週5日制に伴い、子どもたちの文化活動、地域の伝統文化や身近な自然を活用したふるさと学習、「地域の伝統文化の体験活動」の機会と場の提供システムを構築するため、「ふるさと文化再発見アクションプラン」を推進します。

また、地域に信頼される学校・園を実現するための学校評議員制直し、河川そのものの浄化・流下環境を回復することなどを目標とした「清流が流れるふるさとのみち」づくりをめざします。

また、第四次猪名川町総合計画の後期基本計画(平成17年～同22年)の策定作業に着手してまいります。さらに、今日の社会経済情勢から基本構想の見直しも併せて検討してまいります。

また、第四次猪名川町総合計画の後期基本計画(平成17年～同22年)の策定作業に着手してまいります。さらに、今日の社会経済情勢から基本構想の見直しも併せて検討してまいります。

また、歳入の大きな柱である町税についても景気の影響などにより落ち込んでおり、さらに、過去に実施した大型事業などの地方債の一括償還時期が到来することから、町財政は極めて厳しい状況に直面することとなります。

このことから、これまで以上にコスト意識などの経営感覚を持って、民間企業の活用や推進や社会的ニーズの変化に対応した組織、機構や事務事業の見直しなど効率的で効果的な行政運営を推進していくため、平成15年度を初年度とする3カ年の行政改革大綱を策定しました。

このように中、住民、事業者と行政がそれぞれ果たす役割を明確にし、相互に補完しあいながら、さまざまな課題の解決に向け取り組んでいく、参画と協働のまちづくりを推進していくことが重要であります。

そして、猪名川の源流のまちとして、先人から受け継いだ豊かな自然を守り、自然との共生の心を取り戻し、親しめる河川の環境を創造し、これを次代に引き継ぐため、「清流猪名川を取り戻そう町民運動基本構想」を策定しました。

これに基づき、河川に流れ出る水の源である森林保全のため、里山の再生とともに生活環境における水の活用について、完全学校週5日制に伴い、子どもたちの文化活動、地域の伝統文化や身近な自然を活用したふるさと学習、「地域の伝統文化の体験活動」の機会と場の提供システムを構築するため、「ふるさと文化再発見アクションプラン」を推進します。

また、地域に信頼される学校・園を実現するための学校評議員制直し、河川そのものの浄化・流下環境を回復することなどを目標とした「清流が流れるふるさとのみち」づくりをめざします。

また、第四次猪名川町総合計画の後期基本計画(平成17年～同22年)の策定作業に着手してまいります。さらに、今日の社会経済情勢から基本構想の見直しも併せて検討してまいります。

また、第四次猪名川町総合計画の後期基本計画(平成17年～同22年)の策定作業に着手してまいります。さらに、今日の社会経済情勢から基本構想の見直しも併せて検討してまいります。



真田町長が平成15年度施政方針を表明

健康福祉のまちづくり

新たな取り組みとして、虚弱高齢者をもつ家庭を対象に福祉車両の購入助成を行います。また、高齢者の交流の場づくりとして、住宅を借り上げ運営する「ふれあいの場」を設置して、いきいきと暮らすことのできる地域づくりをめざします。

教育文化のまちづくり

学校教育施設については、平成14年度に耐震診断などを行った楊津小学校と大島小学校を、地域実情に合わせた施設となるよう計画を策定します。また、新耐震基準以前(昭和56年以前)の学校施設について、その安全性を確認するため耐震診断を実施し、その結果をみて必要な対策を講じていきます。

魅力ある都市環境を築くまちづくり

県道川西篠山線北野バイパスは、平成15年度より用地買収に入ることとなり、用地買収完了後は、順次施工されることとなります。

安全で快適なまちづくり

地域住民参加によるワークショップで協議を進めてまいりました松尾台、伏見台南公園のリニューアル工事に取り組むとともに、竣工後においては、アドプト制度も取り入れ地域の公園として利用されるよう努めます。

産業のまちづくり

「道の駅いながわ」においては、改めて国、県の補助を受けながら、既存農産物販売センターを地域農産物の集積場として、鳥獣対策を兼ねた軽量なものを新たに配布することとします。

まちづくりの実現に向けて

総合行政ネットワークに参画するなど高度情報社会に適切に対応し、事務の合理化や効率化を進め、迅速な対応に努めます。さらに、住民と行政との情報の迅速な伝達と共有化のための媒体や手法の確立に向けた地域情報化計画を策定します。

今月号の主な内容	
2面	議会の審議結果
3面	21世紀の主役たち
4面	平成15年度予算概要
5面	情報ポケット
6面	健康・福祉
7面	健康・福祉
8面	いながわ特派員報告